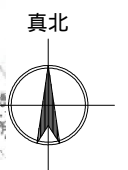


©2020 ZENRIN CO., LTD.



**アトリエTA建築設計事務所**

神奈川県知事登録 第10724号  
 二級建築士 神奈川県知事登録 第28950号 高橋 大介

DRAWING BY	施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO
石川					訂正日 H	
DATE					訂正日 H	
R3.03.08					訂正日 H	
					訂正日 H	

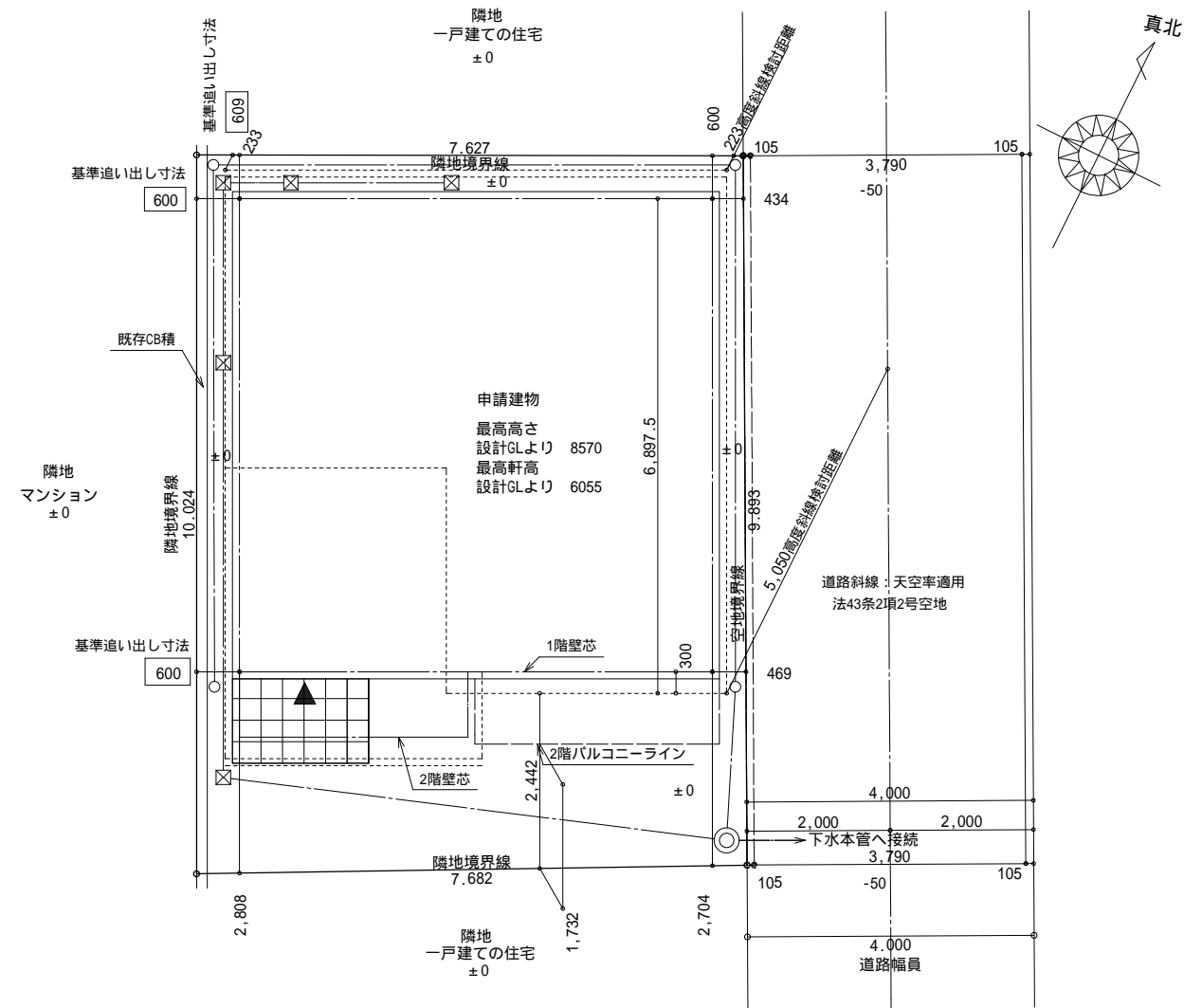
PROJECT TITLE	SHEET NO
南区万世町二丁目 分譲住宅 新築工事	1
DRAWING TITLE	
案内図	SCALE
	-



凡例

000 配置追出し寸法		
樹	○	最終汚水樹
	⊗	最終雨水樹
	○	宅内汚水樹
	⊗	宅内雨水樹
設備	□	ガス外釜
	⊕	立水柱
	⊗	埋込散水柱
	M	既存水道メーター
その他	AC	エアコン室外機予定位置

ガス事業法 第162条に適合させる事  
 水道法 第16条に適合させる事  
 下水道法 第10条第1項に適合させる事



アトリエTA 建築設計事務所 神奈川県知事登録 第10724号 二級建築士 神奈川県知事登録 第28950号 高橋 大介	DRAWING BY : 石川	施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE	SHEET NO
	DATE : R3.03.08	石川				訂正日 H		南区万世町二丁目 分譲住宅 新築工事	3
						訂正日 H		DRAWING TITLE	
						訂正日 H		配置図	S=1/100
						訂正日 H			

天井点検口について  
表記部以外は現場対応とする

すべての開口部はアルミニウム製住宅防火戸  
シャッター以外は網入りガラス  
(防火設備(個別認定品) 認定番号EB-0917~EB-1186)

凡例	
⊗	通し柱 105角 集成材
⊠	出隅、入隅柱 105角 集成材
⊞	その他管柱 105角 集成材
(柱脚) 柱頭 筋交シングル(45°90) 壁倍率2.0	
⊞	筋交ダブル(45°90) 壁倍率4.0
▲	構造用合板ア9mm 壁倍率2.5
▲	構造用合板ア9mm+筋交シングル 壁倍率4.5

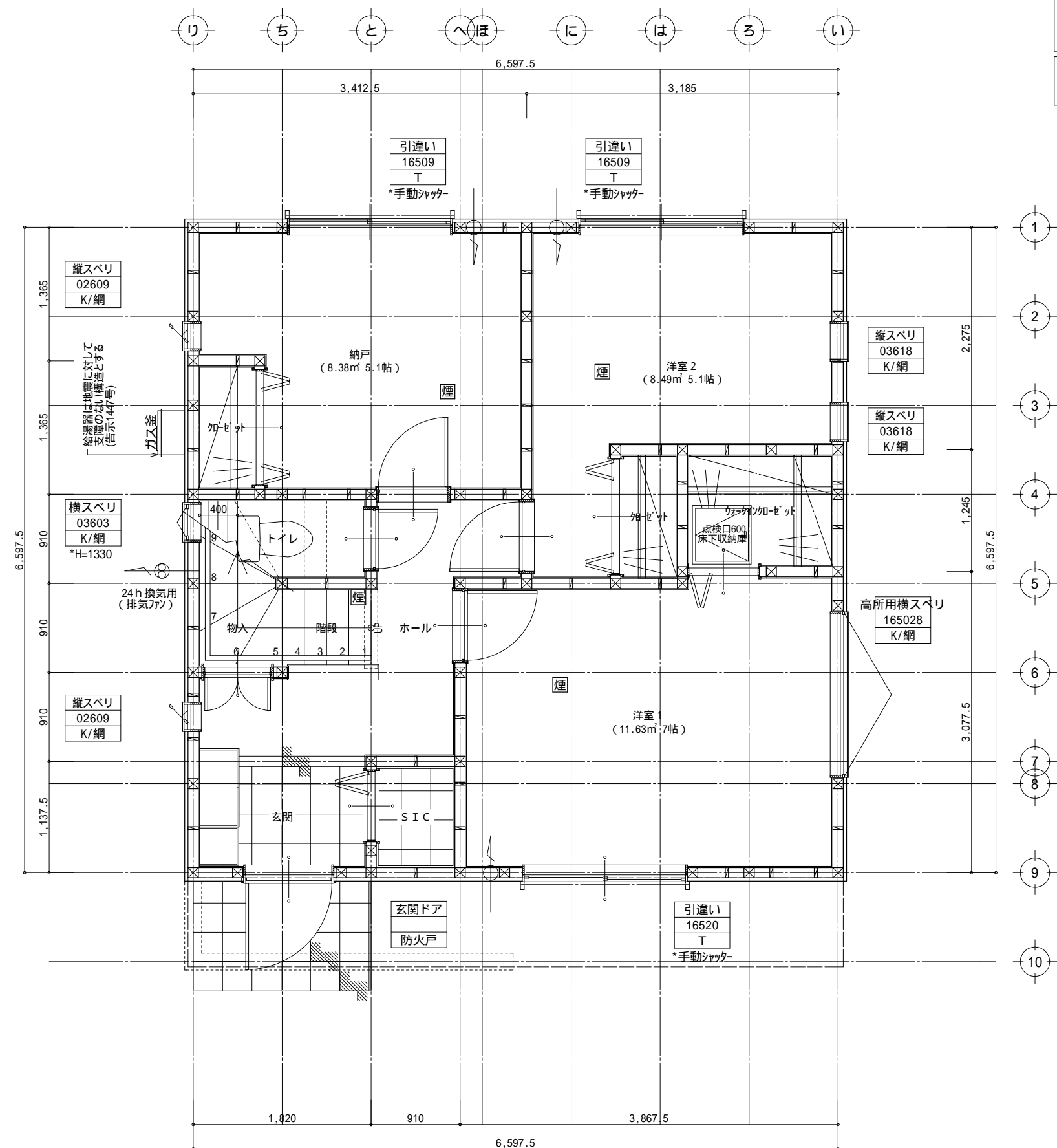
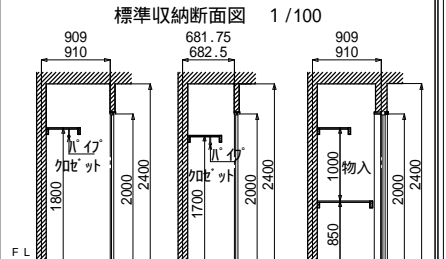
引違い	開口部の種類・形状
16511	W×H 寸法
T/網	ガラス種類 (種類は下記記号を参照)
*H=1800	窓取付天端(表記の無いものはH=2000)
*手動シャッター	備考
*面格子	備考

ガラス記号	
T...	透明
網...	網入り
防...	防犯ガラス
K...	型板
F T...	ワイヤレス防火ガラス
	(ファイテン® ガラス)

法28条の2によるシックハウス対策	
天井裏等(小屋裏収納含む)	F
内表仕上	F
換気設備	第3種換気設備
(換気回数0.5回/h以上)	※常時運転を支持する旨を表示
クロルピリホス	クロルピリホスの使用無し
⊕	24h換気扇100 (鋼製防火覆い付)
⊖	24h給気口100 (鋼製防火覆い付)
⊕	換気扇150 (シロココファン)
⊖	換気扇100 (鋼製防火覆い付)
⊖	給気口100 (鋼製防火覆い付)
	コロ・レゾ・フド' 使用時は開口とする

⊕ (煙感知式) 住宅用火災警報器  
⊖ (熱感知式) 住宅用火災警報器  
住宅用火災警報器設置位置  
天井設置は、壁、又は梁から0.6m以上離れをとる。  
壁設置は、天井から下方0.15m以上0.5m以内に設置する。  
但し換気口等の吹き出し口から1.5m以上離れた位置とする。

(金物補強は新法による)  
特記なき出入口は段差無しとする  
建具(ドア)等の通気  
(開き戸はアンダーカット10mmとする)  
施行令第46条チェック済(筋違計算)  
ガス・水道・電気のメーター位置は現場打合せの上決定すること。



構造計算により  
天井に梁の形が  
出てくる場合があります

アトリエTA建築設計事務所 神奈川県知事登録 第10724号 二級建築士 神奈川県知事登録 第28950号 高橋 大介	DRAWING BY : 石川	施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE	SHEET NO
	DATE : R3.03.08					訂正日 H		南区万世町二丁目 分譲住宅 新築工事	4
						訂正日 H		DRAWING TITLE	SCALE
						訂正日 H		1階 平面詳細図	S=1/50
						訂正日 H			



天井点検口について  
表記部以外は現場対応とする

すべての開口部はアルミニウム製住宅防火戸  
シャッター以外は網入りガラス  
(防火設備(個別認定品) 認定番号EB-0917~EB-1186)

凡例

⊗	通し柱	105角	集成材
⊠	出隅、入隅柱	105角	集成材
⊡	その他管柱	105角	集成材
(柱脚) ▲	筋交シングル(45°90)	壁倍率2.0	
▲	筋交ダブル(45°90)	壁倍率4.0	
▲	構造用合板ア9mm	壁倍率2.5	
▲	構造用合板ア9mm+筋交シングル	壁倍率4.5	

引違い  
16511  
T/網

・・・開口部の種類・形状  
・・・W×H 寸法  
・・・ガラス種類 (種類は下記記号を参照)

\*H=1800 ...窓取付天端(表記の無いものはH=2000)  
\*手動シャッター ...備考  
\*面格子 ...備考

ガラス記号

T...透明 K...型板  
網...網入り FT...ワイヤレス防火ガラス  
防...防犯ガラス (ファイテン® ガラス)

法28条の2によるシックハウス対策

天井裏等(小屋裏収納含む)	F
内表仕上	F
換気設備	第3種換気設備
(換気回数0.5回/h以上)	『常時運転を支持する旨を表示』
クルルビリホス	クルルビリホスの使用無し
⊕	24h換気扇100 (鋼製防火覆い付)
⊖	24h給気口100 (鋼製防火覆い付)
⊗	換気扇150 (シロココファン)
⊠	換気扇100 (鋼製防火覆い付)
⊡	給気口100 (鋼製防火覆い付) コロ・レゾ'フド'使用時は開口とする

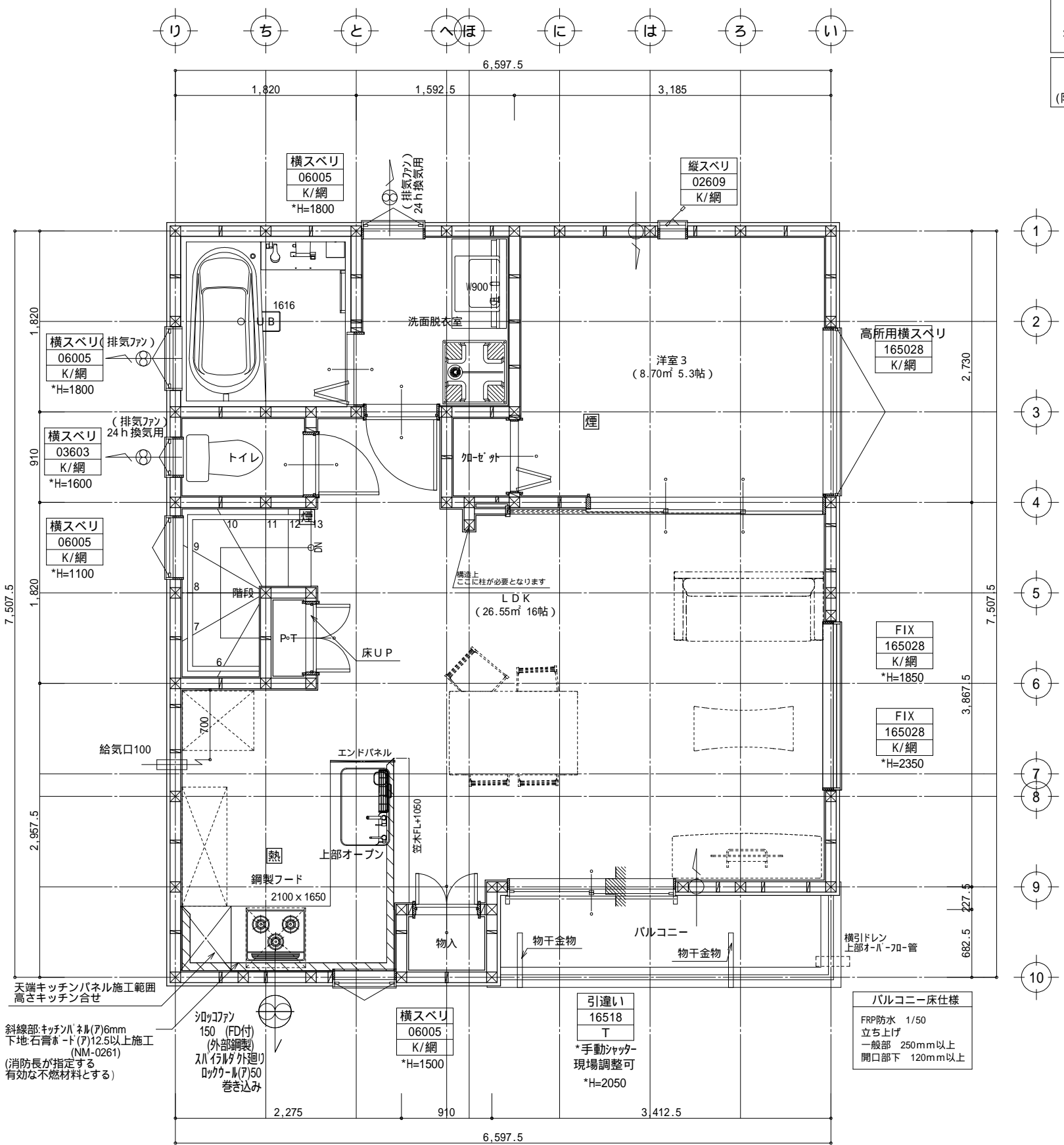
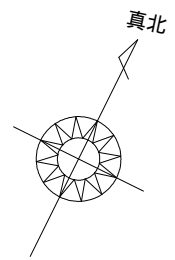
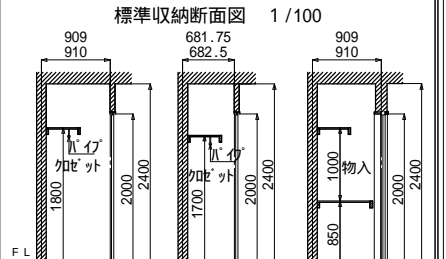
煙 (煙感知式) 住宅用火災警報器  
熱 (熱感知式) 住宅用火災警報器

住宅用火災警報器設置位置  
天井設置は、壁、又は梁から0.6m以上離れをとる。  
壁設置は、天井から下方0.15m以上0.5m以内に設置する。  
但し換気口等の吹き出し口から1.5m以上離れた位置とする。

(金物補強は新法による)  
特記なき出入口は段差無しとする

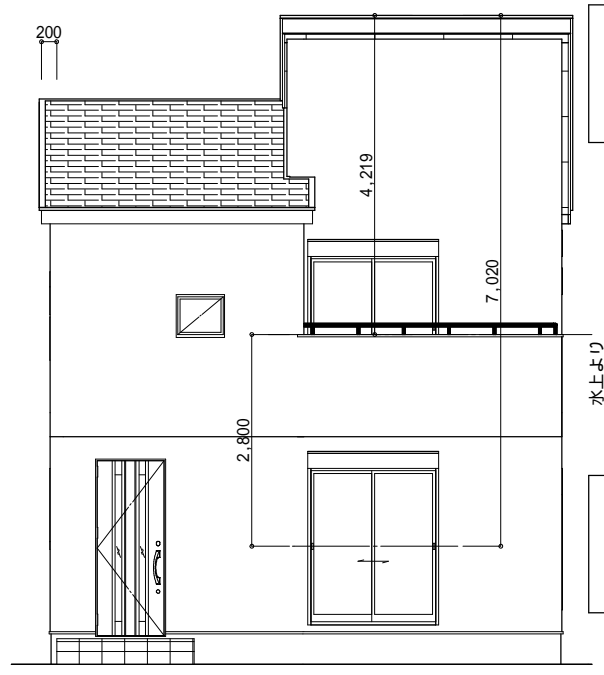
建具(ドア)等の通気  
(開き戸はアダグ'カット10mmとする)

施行令第46条チェック済(筋違い計算)  
ガス・水道・電気のメーター位置は現場打合せの上決定すること。



構造計算により  
天井に梁の形が  
出てくる場合があります

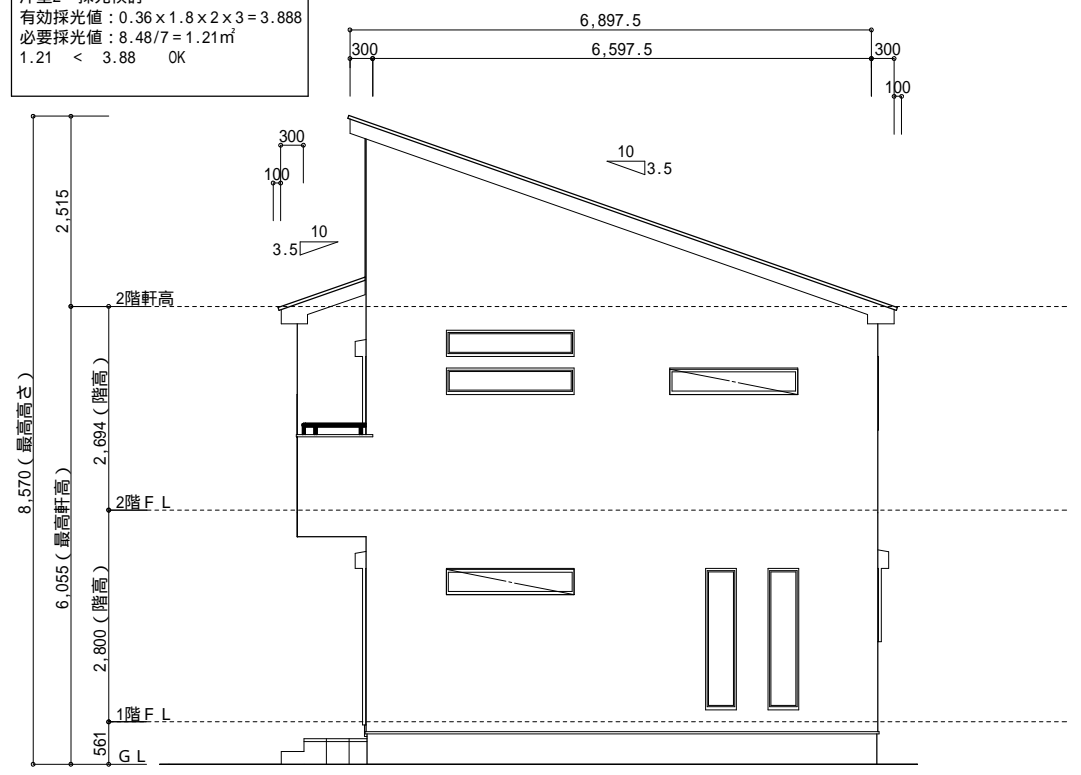
アトリエTA建築設計事務所 神奈川県知事登録 第10724号	DRAWING BY: 石川 DATE: R3.03.08	施主承諾	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE	南区万世町二丁目 分譲住宅 新築工事	SHEET NO 5
		二級建築士 神奈川県知事登録 第28950号 高橋 大介					訂正日 H 訂正日 H 訂正日 H 訂正日 H			



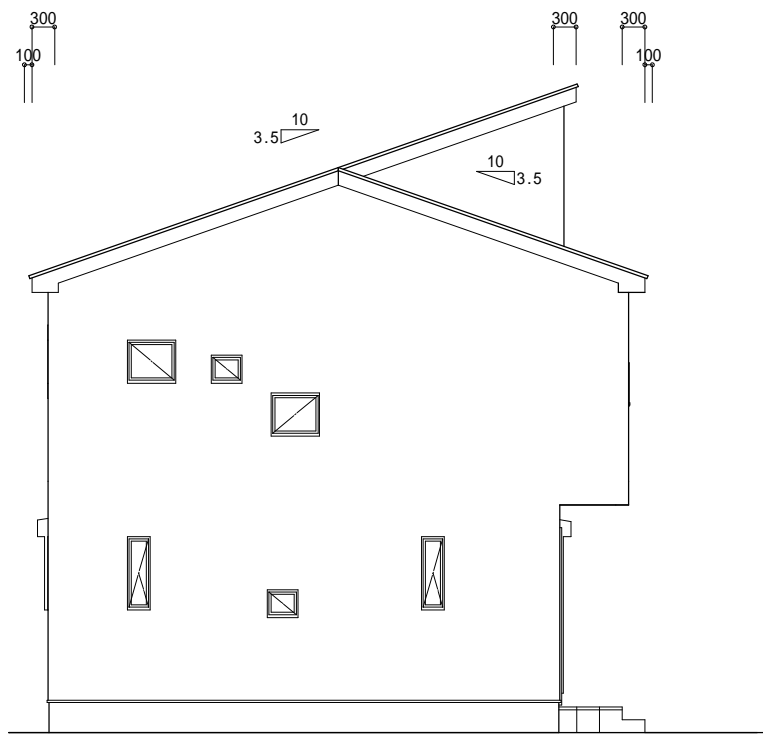
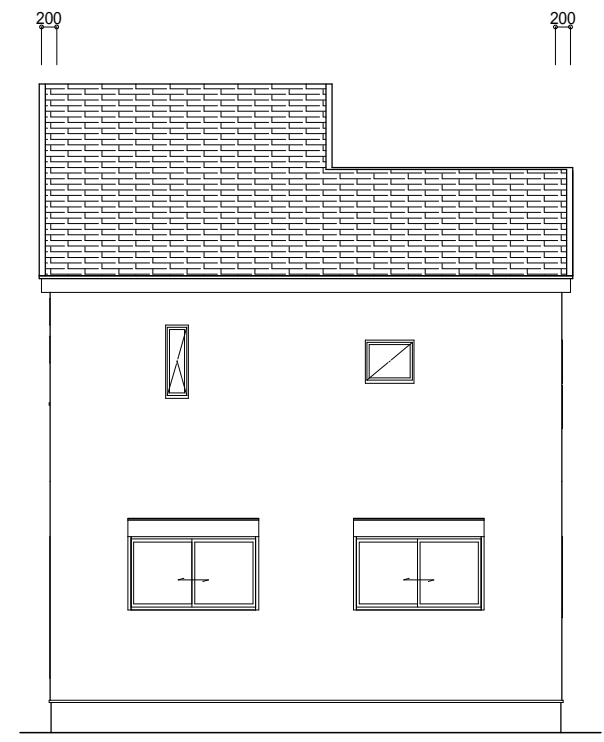
LDK+洋室3 採光検討  
 2442/4219 x 1-1 = 4.78 3とする  
 有効採光値: 1.65 x 1.8 x 3 = 8.91  
 必要採光値: 26.55 + 8.69 = 35.24㎡  
 35.24/7 = 5.03 < 8.91 OK

洋室1 採光検討  
 2442/7020 x 10-1 = 2.47  
 有効採光値: 1.65 x 1.8 x 2.47 = 7.33  
 必要採光値: 11.62/7 = 1.66㎡  
 1.66 < 7.33 OK

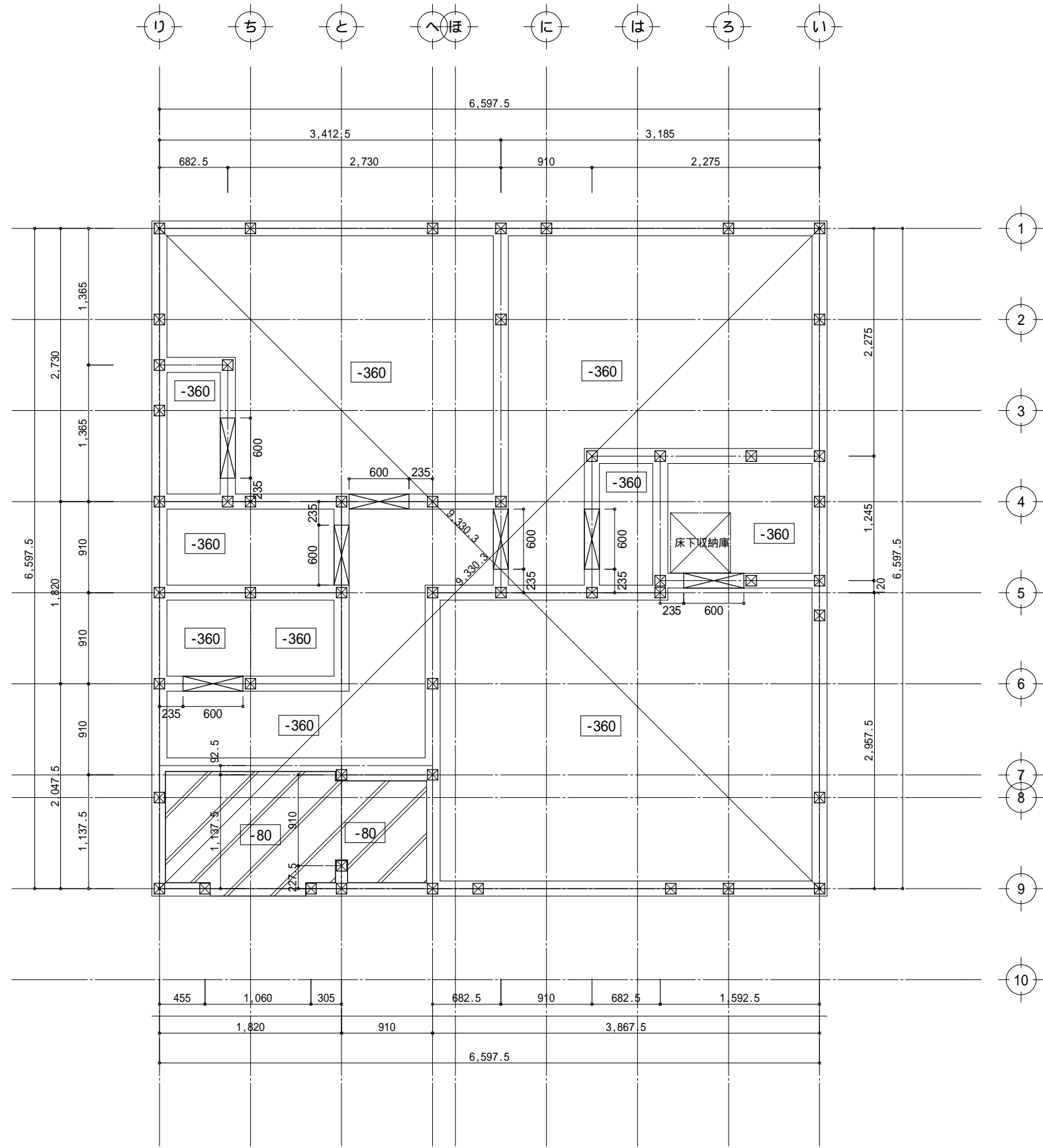
洋室2 採光検討  
 有効採光値: 0.36 x 1.8 x 2 x 3 = 3.888  
 必要採光値: 8.48/7 = 1.21㎡  
 1.21 < 3.88 OK



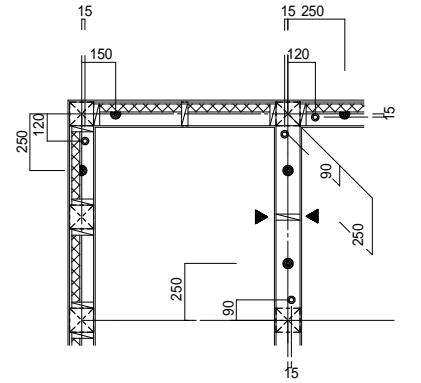
基礎: べた基礎工法  
 基礎立ち上がりH=410mm  
 床下換気はキノパッキン仕様  
 防腐・防蟻処理:  
 地面から1m以内の外壁軸組



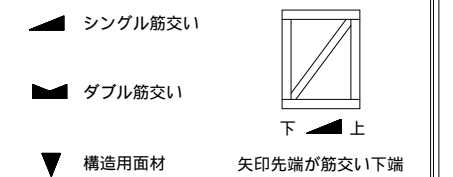
アトリエTA建築設計事務所 神奈川県知事登録 第10724号 二級建築士 神奈川県知事登録 第28950号 高橋 大介	DRAWING BY: 石川	施主承諾 営業 設計 工事 訂正図面作成日 MEMO	PROJECT TITLE 南区万世町二丁目 分譲住宅 新築工事	SHEET NO 6
	DATE: R3.03.08			



凡例  
ホールダウン・アンカーボルト設置基準



- アンカ - 頭出：基礎天より120出
- アンカ - 位置：耐力壁の柱部分の芯より150離し
- ホールダウンアンカ - 位置：柱芯より120離し
- 建物内周部の筋交い部のホールダウンは左右どちらかに偏芯させる事。(筋交いに当たります。)
- 建物外周部のホールダウンは内側に偏芯させる事。(真壁和室の場合は外側。)



特記なき人通口の幅は600とする。  
(耐力壁・柱下に設置しない事)  
スラブレベルは基礎天端マイナス高さとする。  
【 】内の寸法は追い出し寸法です。

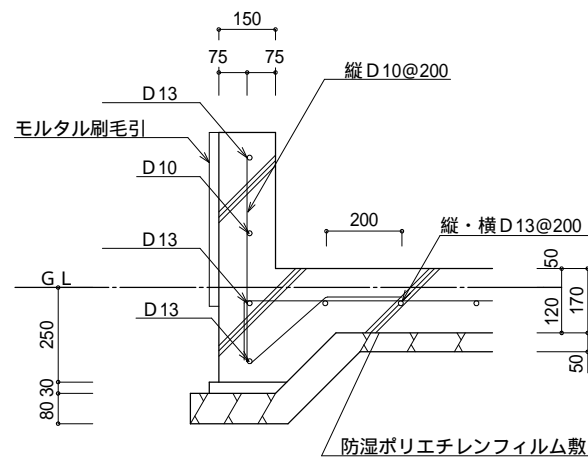
\*内玄関・外玄関の土間レベル(標準基礎高H=310の場合)  
(下記の数値は基礎天端からの数値とする。)

	拵組み工法	根太 4.5mm	根太 6.0mm
玄関内土間	- 80	- 50	- 30
玄関外土間 2 段目	- 120	- 80	- 65
玄関外土間 1 段目	現場合わせ	現場合わせ	現場合わせ
玄関コナート	- 150	- 110	- 90

\*シューズクローク等による広い内土間がある際には土間レベル要検討。  
(水勾配を奥からとる為)

DRAWING BY	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE	SHEET NO
				訂正日 H			
DATE				訂正日 H	DRAWING TITLE	SCALE	S-01
R 3 . 0 3 . 0 8				訂正日 H			

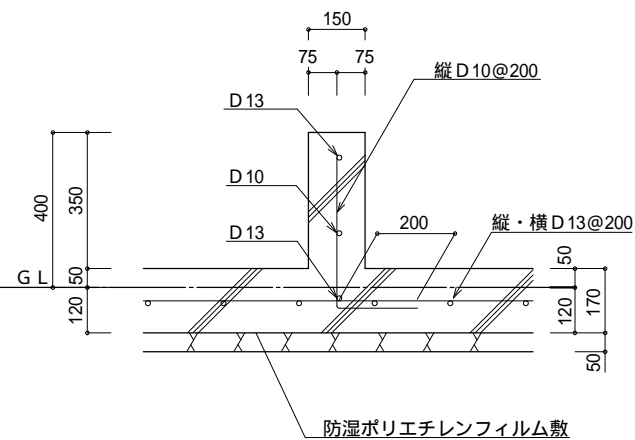
標準 基礎



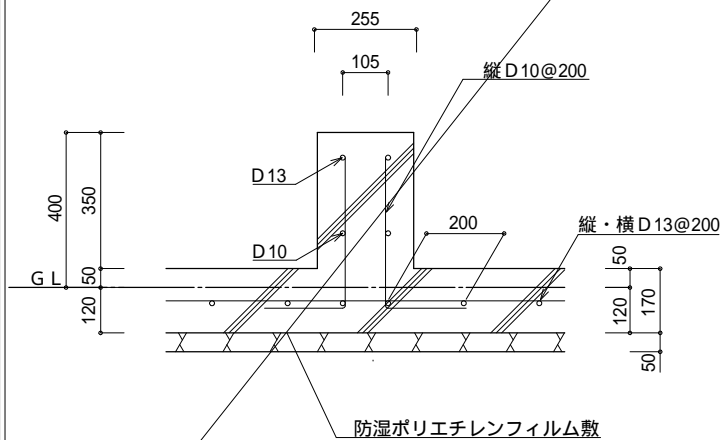
印箇所は6尺を超えるサッシ開口部の場合、上端筋・下端筋共にD-13のダブル配筋とし、補強を行う事。  
鉄筋相互の空きは30mmを確保し定着は600とする。

玄関ドア部欠きこみ補強は、なくても可

中通り

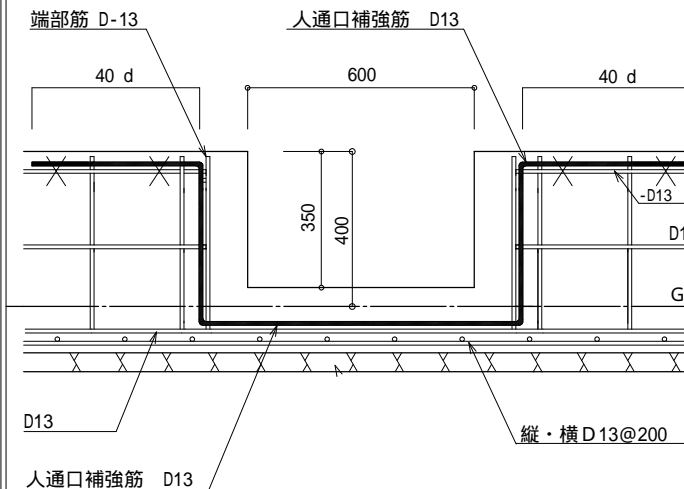


W基礎



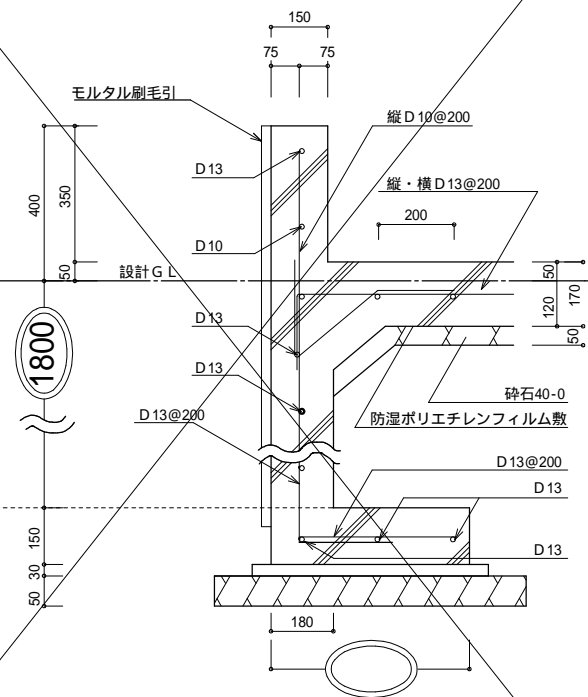
\* 上部振れ止めは3尺毎に設置する

人通口補強詳細図



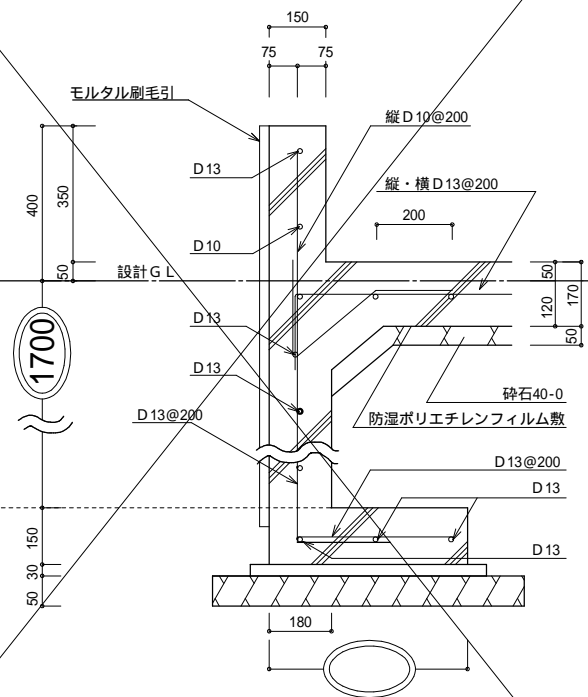
深基礎

H=350以下タイプ  
【H=350(見付け)+250(根入れ)=600(合計)】



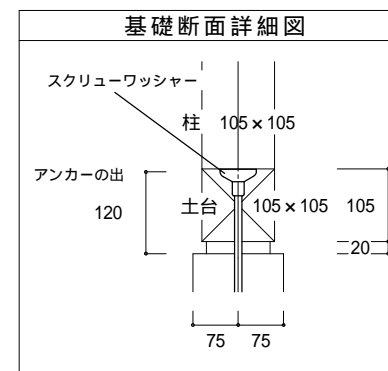
深基礎

H=351~1000以下タイプ  
【H=1000(見付け)+250(根入れ)=1250(合計)】



HD・Aボルト設置基準

- 基礎が直行する箇所は両方に設置する事。
- 土台継ぎ手部分は基準点より350の位置に設置する事。
- 特記なきアンカーボルトは基準点より150の位置に設置する事。
- ホールダウンのある箇所は基準点より250の位置に設置する事。
- ホールダウンは芯より内側へ設置する事。
- 耐力壁の両サイドには必ずアンカーボルトを設置する事。
- 上記箇所以外では最低1820以内に設置する事。
- 特記なき人通口は有効600とする事。
- 呼び強度24・スランプ18確保する事。
- また冬期は必ず温度補正をする事。



上記の ○ 内に数値の記入をお願い致します。

特記事項 標準図以外の基礎断面形状が発生するときは別紙にその基礎断面詳細図を作成すること

アトリエTA建築設計事務所 神奈川県横須賀市衣笠栄町4-28-16 TEL: 090-7017-9171 FAX: 045-330-5422 神奈川県知事登録 第10724号 二級建築士 神奈川県知事登録 第28950号 高橋 大介	DRAWING BY : DATE : H29.02.21	営業	設計	工事	訂正図面作成日	MEMO	PROJECT TITLE	SHEET NO
					訂正日 H		南区万世町二丁目 分譲住宅 新築工事	S-02
							DRAWING TITLE	SCALE
							基礎断面図	S=1/50